

宇都宮事業所に新工場を建設 半導体製造装置の生産能力を強化

キヤノンは、半導体製造装置などを生産する宇都宮事業所に新工場を建設することを決定し、2025 年上期からの操業を計画しています。

キヤノングループは、2021 年からの新 5 年経営計画「グローバル優良企業グループ構想」フェーズ VI において、「生産性向上と新事業創出によるポートフォリオの転換を促進する」を基本方針に掲げ、主要戦略の一つである半導体製造装置事業の拡大に努めています。

半導体市場は、IoT や 5G など「社会のスマート化」が牽引し、成長を続けています。キヤノンでは、製品・営業・サポート各分野の強化に取り組んでおり、半導体露光装置のシェアも拡大しています。今後、中長期的に見込まれる需要の増加に応えるため、宇都宮事業所内に新工場を建設し、生産能力を強化します。

【新工場の計画概要】

名称： キヤノン株式会社 宇都宮光学機器事業所 新工場（仮称）
所在地： 栃木県宇都宮市清原工業団地 22-2
敷地面積： 約 70,000 m²
投資額： 約 380 億円（建設費）
着工予定： 2023 年下期
稼働予定： 2025 年上期
事業内容： 半導体製造装置の開発・生産・サービス